



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

東

上場会社名 タカセ株式会社

上場取引所

コード番号 9087

URL <https://www.takase.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大宮司 典夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 笹岡 幹男

TEL 03-3571-9497

管理本部長

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,987	1.6	16	51.7	28	31.4	12	△14.1
2025年3月期第1四半期	1,955	0.1	11	△59.7	21	△55.5	14	△61.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △31百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 58百万円(1.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	6.02	—
2025年3月期第1四半期	7.07	—

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	9,376	7,246	77.3	3,590.86
2025年3月期	9,516	7,349	77.2	3,641.52

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 7,246百万円 2025年3月期 7,349百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,600	3.1	200	151.8	230	96.3	180	16.1	89.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更
除外 社 () : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期1Q	2,109,026株	2025年3月期	2,109,026株
2026年3月期1Q	90,895株	2025年3月期	90,852株
2026年3月期1Q	2,018,142株	2025年3月期1Q	2,002,448株

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算出しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は
監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、所得ならびに雇用の改善により、緩やかな回復基調を維持したものの、物価の上昇傾向は続いており、個人消費の停滞や、米国の関税政策等による国内景気の下振れに対する懸念も続くなど、先行き不透明な状況で推移しました。また、海外においても米国の関税政策や中国経済の低迷、ウクライナおよび中東における地政学リスク、原材料価格の高止まりによる物価上昇の影響等による海外景気の下振れリスクも依然として残っており、不透明な状況が続きました。

こうした中、当社グループは、社訓「まごころ」、社是「ADD SYSTEM」を念頭に、顧客目線を大切にした品質第一のサービス提供を行うことにより、当社グループを選んで頂けるように業務に取り組んでまいりました。特に、顧客の理解を得ながらの「適正価格の収受」、「新規顧客ならびに既存顧客の新規業務獲得」について、優先的な課題として取り組んでまいりました。

併せて、利益率の改善に向け、当社グループの強みである流通加工業務において、これまで同様に作業コストの削減に取り組んだことに加え、サービスレベルを維持した上で、作業人員数並びに人員配置の見直しによる適正化等を行い、営業所におけるそれぞれの業務間の人員融通を積極的に進めるなど、これまで以上に業務効率化に注力してまいりました。

また、当第1四半期連結累計期間から“既存事業の収益力強化と新たな収益構造を確立する”ことをテーマとして、既存顧客とのパートナーシップ強化による営業収益の拡大を目指すと同時に、当社グループの強みである人の手を活かしたきめ細やかな流通加工業務に磨きをかけることにより競合他社との差別化を図り、それに機械およびシステムを組み合わせることによって省人化並びに業務効率化を実現し、利益率を改善させるべくチャレンジを開始しております。

上記の取組の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、期初からの収受価格の改定による効果に加え、主要顧客における業務取扱量が堅調に推移したこと、海外現地法人における業務取扱量が増加したことから、前年同期間と比較して、1.6%増の19億87百万円となりました。

利益面につきましては、営業収益の増加に加え、一部主要顧客との間で実現した収受価格の改定による利益率改善の影響が大きく、営業利益は、前年同期間と比較して51.7%増の16百万円、経常利益は、同31.4%増の28百万円となりました。一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期間と比較して税金負担の増加もあり、同14.1%減の12百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

- A. 総合物流事業におきましては、期初からの収受価格の改定による増収効果に加え、海外現地法人においては、前年同期間と比較して主要顧客の業務取扱量が増加したことにより、営業収益が前年同期間と比較して2.2%増の19億72百万円となりました。営業利益は、営業収益が増加したこと、収受価格改定により営業利益率が改善したことから、173.6%増の7百万円となりました。
- B. 運送事業におきましては、当事業が、総合物流事業に対する運送分野を担っております。営業収益は、一部既存顧客の業務取扱量が減少したことにより、前年同期間と比較して2.5%減の72百万円となりました。営業利益は、営業収益減少の影響は受けたものの、コスト削減が寄与し、前年同期間と比較して11.2%増の2百万円となりました。
- C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する倉庫内オペレーション分野を担っております。営業収益は、国内物流業務取扱量の増加により、前年同期間と比較して0.5%増の2億56百万円となりました。営業利益は、営業収益の増加に加え、コスト削減により営業利益率も改善し、前年同期間と比較して369.8%増の1百万円となりました。

(注) 上記営業収益については、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億39百万円(1.5%)減少し、93億76百万円となりました。

この主な要因は、売掛金及び契約資産が1億15百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ37百万円（1.7%）減少し、21億29百万円となりました。

この主な要因は、長期借入金が62百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億2百万円（1.4%）減少し、72億46百万円となりました。

この主な要因は、前連結会計年度にかかる期末配当金により70百万円、為替換算調整勘定が42百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、業績が期初予測時の進捗からは下振れしているものの、営業収益はほぼ予測どおりに推移しており、第2四半期連結会計期間以降は、既存事業における取扱業務量の拡大、一部主要顧客からの受託業務の範囲拡大による営業収益の増加が見込まれるほか、倉庫内の流通加工業務におけるコスト削減施策の効果が現れると考えていることから、通期では概ね予想どおりの結果になると見込んでいるため、2025年3月期決算短信（2025年5月14日付）で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,849,882	1,889,041
売掛金及び契約資産	939,669	824,411
原材料及び貯蔵品	11,670	11,670
前払費用	111,512	104,467
その他	139,475	131,014
貸倒引当金	△753	△722
流動資産合計	3,051,456	2,959,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,235,932	10,235,611
減価償却累計額	△7,831,590	△7,872,526
減損損失累計額	△64,872	△64,872
建物及び構築物（純額）	2,339,469	2,298,212
機械装置及び運搬具	2,017,036	2,013,638
減価償却累計額	△1,883,558	△1,888,270
減損損失累計額	△2,771	△2,747
機械装置及び運搬具（純額）	130,706	122,620
土地	2,335,562	2,335,562
その他	728,082	720,652
減価償却累計額	△592,271	△595,079
減損損失累計額	△22,067	△21,403
その他（純額）	113,743	104,169
有形固定資産合計	4,919,482	4,860,565
無形固定資産		
借地権	458,486	458,486
その他	23,473	28,945
無形固定資産合計	481,959	487,431
投資その他の資産		
投資有価証券	497,270	494,464
繰延税金資産	76,745	81,024
その他	494,136	497,591
貸倒引当金	△4,836	△4,706
投資その他の資産合計	1,063,315	1,068,373
固定資産合計	6,464,757	6,416,371
資産合計	9,516,214	9,376,254

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	408,126	372,900
短期借入金	270,000	265,000
1年内返済予定の長期借入金	348,000	348,000
未払費用	92,440	98,242
未払法人税等	19,523	19,671
賞与引当金	54,409	86,550
その他	83,235	153,361
流動負債合計	1,275,735	1,343,727
固定負債		
長期借入金	347,000	285,000
退職給付に係る負債	350,823	356,455
その他	193,430	144,249
固定負債合計	891,253	785,705
負債合計	2,166,989	2,129,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,170,568
利益剰余金	2,692,789	2,634,312
自己株式	△119,734	△119,782
株主資本合計	6,876,904	6,818,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	207,106	205,826
為替換算調整勘定	265,213	222,615
その他の包括利益累計額合計	472,320	428,442
純資産合計	7,349,224	7,246,821
負債純資産合計	9,516,214	9,376,254

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業収益	1,955,380	1,987,629
営業原価	1,720,517	1,737,232
営業総利益	234,862	250,396
販売費及び一般管理費	223,816	233,642
営業利益	11,046	16,753
営業外収益		
受取利息	832	1,154
受取配当金	7,346	10,131
受取賃貸料	852	5,171
為替差益	2,538	—
その他	4,050	4,107
営業外収益合計	15,621	20,565
営業外費用		
支払利息	3,998	3,437
廃棄物処理費用	—	3,562
為替差損	—	1,069
その他	1,018	798
営業外費用合計	5,017	8,868
経常利益	21,650	28,450
特別損失		
固定資産除売却損	19	0
減損損失	309	—
特別損失合計	328	0
税金等調整前四半期純利益	21,321	28,450
法人税、住民税及び事業税	13,643	18,957
法人税等調整額	△6,470	△2,665
法人税等合計	7,173	16,292
四半期純利益	14,147	12,158
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,147	12,158

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	14,147	12,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,341	△1,279
為替換算調整勘定	40,565	△42,598
その他の包括利益合計	43,907	△43,877
四半期包括利益	58,054	△31,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,054	△31,719

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
日本	1,469,947	21,035	—	1,490,983	7,170	1,498,153
中国	299,703	—	—	299,703	—	299,703
米国	89,604	—	—	89,604	—	89,604
顧客との契約から生じる収益	1,859,255	21,035	—	1,880,291	7,170	1,887,461
その他の収益(注) 4	67,918	—	—	67,918	—	67,918
外部顧客への営業収益	1,927,174	21,035	—	1,948,210	7,170	1,955,380
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	3,233	53,727	254,840	311,801	—	311,801
計	1,930,407	74,763	254,840	2,260,011	7,170	2,267,181
セグメント利益	2,704	2,319	353	5,377	1,982	7,360

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
日本	—	1,498,153
中国	—	299,703
米国	—	89,604
顧客との契約から生じる収益	—	1,887,461
その他の収益(注) 4	—	67,918
外部顧客への営業収益	—	1,955,380
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	△311,801	—
計	△311,801	1,955,380
セグメント利益	3,685	11,046

(注) 1. 「その他」の区分は、付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位のものであります。

2. セグメント利益の調整額3,685千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に含まれる不動産賃貸収入および「金融商品に関する会計基準」に含まれる信託受益権により生じた収入であります。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「総合物流事業」セグメントにおいて、タカセ株式会社福岡営業所の工具、器具及び備品にかかる減損損失309千円を計上しております。

2. 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
日本	1,437,821	17,992	—	1,455,813	7,133	1,462,947
中国	357,800	—	—	357,800	—	357,800
米国	98,805	—	—	98,805	—	98,805
顧客との契約から生じる収益	1,894,427	17,992	—	1,912,419	7,133	1,919,552
その他の収益(注) 4	68,076	—	—	68,076	—	68,076
外部顧客への営業収益	1,962,503	17,992	—	1,980,495	7,133	1,987,629
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	9,925	54,879	256,100	320,905	—	320,905
計	1,972,429	72,872	256,100	2,301,401	7,133	2,308,534
セグメント利益	7,401	2,579	1,659	11,639	1,429	13,069

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
日本	—	1,462,947
中国	—	357,800
米国	—	98,805
顧客との契約から生じる収益	—	1,919,552
その他の収益(注) 4	—	68,076
外部顧客への営業収益	—	1,987,629
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	△320,905	—
計	△320,905	1,987,629
セグメント利益	3,684	16,753

(注) 1. 「その他」の区分は、付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位のものであります。

2. セグメント利益の調整額3,684千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に含まれる不動産賃貸収入および「金融商品に関する会計基準」に含まれる信託受益権により生じた収入であります。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間にかかる四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間にかかる減価償却費(無形固定資産にかかる償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	85,139千円	73,376千円